

児童プログラミングアワード

平川さん(6年)ら大賞

宮崎市

県内の児童がプログラミングのアイデアや完成度を競う「第3回みやざきジュニアプログラミングアワード」(宮崎日日新聞社主催)の本選は19日、宮崎市の宮日会館であった。1次審査を通過した7個人3チームがプレゼンテーションを行い、大賞は低学年の部が「SuSoKa」



平川 晴茄さん



低学年の部で大賞を受賞した「SuSoKa」の宮崎花音(川上涼乃さん)、上田蒼大君(左から)19日午後、宮崎市・宮日会館

出場者はプログラミング学習ツールを使って制作したゲームなどを披露。大学や企業の専門家ら3人が、

完成度や発表する際の表現などを審査した。

「SuSoKa」は同市・江平小の1年宮崎花音さん(7)、2年上田蒼大君(8)、3年川上涼乃さん(9)のチーム。受賞した

「でんしおこづかいちようたまる」は目標金額を指し、お手伝いの対価のお小遣いを計画的にためることができプログラミング。3人の掛け合いでユーモラスに紹介した。

平川さんの「ぶらっしゅとーく」は、体が不自由なお年寄りや、文字が書けない小さい子どもでもコミュニケーションを取ることができるウェアアプリ。「ユーザーテストも重ね、使いやすさを心掛けた」と述べた。受賞を受け、平川さんは来年3月に東京で開かれ

る全国選抜小学生プログラミング大会に出場する。

大賞以外の受賞者と作品名は次の通り。(敬称略)

【準大賞】

低学年の部 作元麟太郎(宮崎大付属小3年)「Super in Game」▽高学年の部 じりとり(いずれも宮崎大付属小4年の長友心之介、迫園梨央、田崎智也)「お魚AI」